



浮羽中学校通信

～ 立志・挑戦・感動 ～

うきは市立浮羽中学校
第 23 号
令和3年12月13日発行
文責 校長 金子 敬尋

二つのコンテストで表彰されました

～ 全国中学生人権作文コンテスト



福岡県大会 ～

夏休みの宿題の1つに人権作文があります。子ども達は、それを書いて学校に提出し、人権作文コンテストに応募します。今年はその結果、うきは市の審査で3名が入賞しました。

1年3組の尾花彩葉さんが「七十八億の平和」の題で優秀賞、2年2組の中垣如葉さんが「リンゴの色」の題で奨励賞、3年2組の吉山杏さんが「危険な正義感」の題で最優秀賞を受賞しました。3人は12月6日(月)に校長室で、人権擁護委員の皆様へ表彰を受けました。また、3年の吉山さんの作文は、第40回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会で、県の優秀賞(県内4万1382編の中から最優秀賞は3編・優秀賞は10編)を受賞することができました。校長室では、担任の島先生がとても嬉しそうでした。吉山杏さん、中垣如葉さん、尾花彩葉さん、おめでとうございます!

～ 福岡県中学生

英語スピーチコンテスト ～

12月4日(土)筑紫野市生涯学習センターにおいて、第4回福岡県中学生英語スピーチコンテストが行われました。浮羽中学校からは、10月の北筑後地区中学生英語スピーチコンテストで優秀賞を受賞した2年3組の徳永夏蓮さんが出場しました。今回は県大会なので、福岡県内の各地から予選を勝ち抜いた47名の中学生が出場しました。徳永さんは「Do you agree to hold the Olympics?」の題目でスピーチを行いました。そして見事!ここでも優秀賞(最優秀賞は1名・優秀賞は3名)を受賞することができました。県のハイレベルなコンテストの中で、このような結果を出すことができたのは大変素晴らしいことです。徳永夏蓮さん、おめでとうございます!

人権学習の参観 ありがとうございました



12月10日は世界人権デーと定められており、日本ではその一週間前からこの日まで(12月4日から10日まで)を人権週間とし、人権啓発の活動があらゆるところで行われます。浮羽中学校では、12月8日(水)に1・2年生で人権学習の授業が行われました(3年生は3学期に実施予定)。各クラスで担任の先生からの熱い授業が行われ、人権や自分たちの生活のことを考える機会となりました。

また、保護者の方にも子ども達がどのような人権教育を受けているのか知ってもらいたいことや、保護者への啓発の意味も含め、1学期(7月)に引き続き授業参観という形にさせていただきました。浮羽中学校、あるいはうきは市から、あらゆる差別がなくなり誰もが過ごしやすい環境をつくっていかねばなりません。お忙しい中に授業に参観して子ども達と一緒に人権について考えていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

三者面談が始まっています

もうこのような時期になりました。12月10日(金)から3年生の三者面談が始まりました。12月20日(月)まで6日間の予定で行われます。生徒・保護者・学級担任の三者で、中学校を卒業した後の進路のことを話します。受験する私立高校については面談の後にすぐ願書の記入をしていただいています。公立高校の推薦入試のことや、通知表やテストの点数のこと、子ども達にとっては少し耳の痛い話もあるかもしれませんが、子ども達自身のことであり大切な内容です。進路実現のためにしっかりと話をさせていただきたいと思っています。また、1・2年生においては、まだまだ先のことと思わず、3年生のこの時期に向けて十分な準備をしておいてもらいたいと考えています。

